



令和5年度学術委員会学術第6小委員会報告 病院薬剤師の働き方・キャリア形成に関する研究

委員長

慶應義塾大学薬学部医薬品情報学講座（前宮城県立がんセンター薬剤部）

土屋 雅美 Masami TSUCHIYA

委員

北海道医療大学薬学部

慶應義塾大学医学部病院薬剤学教室

国立国際医療研究センター病院薬剤部

笠師久美子 Kumiko KASASHI

河添 仁 Hitoshi KAWAZOE

大橋 裕丈 Hirotake OHASHI

富山大学附属病院薬剤部

鳥取大学医学部附属病院薬剤部

株式会社メデュアクト

小笠原明美 Akemi OGASAWARA

三好由希子 Yukiko MIYOSHI

流石 学 Manabu SASUGA

研究テーマの背景

2023年3月に報告された薬剤師の偏在状況に関する調査¹⁾では、薬剤師の従事先に業態の偏在や地域偏在があり、偏在を解消するための薬剤師確保の取り組みが必要であり、特に病院薬剤師の確保は喫緊の課題であるとされている。病院薬剤師のなり手を増やす入口の戦略に加え、病院薬剤師として長く働くことができる環境整備や、薬剤師としてのキャリア形成支援も同時に取り組む必要がある。

一方で、本邦の病院薬剤師の働き方やキャリア形成支援に関する実態やニーズを広く調査したものはなく、少数を対象にした研究結果や事例紹介が散見されるのみである。薬系女子大学の学生を対象としたアンケート調査²⁾の結果から、回答者の71.1%が結婚・出産を踏まえたうえで「生涯働き続けたい」と就業継続の意識が非常に高いことが明らかになった。単施設の薬剤部員への質問紙調査³⁾では、将来的に認定・専門薬剤師を取得し専門性を高めることを志向し、自身の成長において資格取得が重要であるという認識があることが明らかとなった。病院薬剤師のキャリアパスに対する満足度を向上させるために改善が必要な項目を探索した研究⁴⁾では、「教育研修体制の満足度」「ワーク・ライフバランスの満足度」および「研究活動の満足度」が優先的に改善すべき項目として見出された。

各施設のキャリア支援に関する実践としては、日本病院薬剤師会雑誌で「シリーズ：病院薬剤部における薬剤師キャリアアップ支援に関する取り組み」と題して各施設のキャリアアップ支援の取り組みについて特集しており、キャリア支援室の設置や、認定・資格制度の取得支援、社会人大学院生の研究活動を支援している施設や⁵⁾、「薬

剤業務に基づく研究」を実践し、臨床現場から出てきた問題を研究テーマとして取り組んでいる施設の取り組みなどを紹介している⁶⁾。また、職員一人ひとりに期待される役割と仕事内容を提示し、自己評価システムを構築して目標設定と面談を行っている施設⁷⁾、自己能力開発評価シートを用いて業務目標とキャリア目標を設定し、評価・面談を行う施設の取り組みなどが紹介されている⁸⁾。

このように、薬剤師のキャリア形成支援に関するニーズや課題は部分的に明らかになってきているものの、広範な実態把握とは至っていない。

活動目的

日本病院薬剤師会（以下、日病薬）学術第6小委員会では、日病薬会員を対象に質問紙調査を実施し、その結果を学会発表・論文として公表することにより、日病薬会員の働き方・キャリア支援に関する現状を明らかにすることを目的に活動を開始した。また、日病薬会員の働き方・キャリア支援に関する好事例を収集し、その結果を学会等で周知することにより、薬剤師の働き方・キャリア支援に関する取り組みを推進する。

令和5年度の活動内容

令和5年度は、日病薬会員を対象とした質問紙調査実施に向けた質問紙調査票の作成を行った（表）。質問項目としては回答者背景や所属施設の情報、認定・専門資格の有無、学位の有無、雇用形態や職場の福利厚生制度、キャリア支援の有無、働き方に関する満足度、キャリアに関する満足度などについて、様々な角度から「働き方」と「キャリア形成」を問うものとした。本調査の特徴としては、若手からミドル層、マネジメント層まで、幅広いキャリアを対象とし、それぞれの課題などを抽出する

表 質問紙調査項目

0	研究参加への同意
1	回答者背景
1.1	あなたの年齢を教えてください。
1.2	あなたの性別を教えてください。
1.3	あなたの家族構成を教えてください。
1.4	あなたの主となる勤務先を教えてください。兼業・兼務をしている場合は、勤務時間が最も長いものを選択してください。
1.5	(②～⑤の病院と回答した方へ) 勤務先の病床規模・区分を教えてください。
1.6	あなたの勤務先の立地する都道府県を教えてください。
1.7	あなたの役職を教えてください。
1.8	あなたの薬剤師歴(免許取得後の年数)を教えてください。
1.9	あなたの現在の職場での勤務年数を教えてください。
1.10	認定・専門資格の有無を教えてください。
1.11	1-10で「あり」の場合、その内容を教えてください(複数回答可能)。
1.12	学位(博士号)の有無を教えてください。
1.13	あなたが有しているその他の資格があれば教えてください(医療関係以外など)。
1.14	あなたがこれまでに受けた教育研修プログラムを教えてください。
2	働き方に関する項目
	*特に記載がない場合、2023年度の事としてお答えください。
2.1	あなたの雇用形態を教えてください。
2.2	あなたの勤務時間を教えてください。
2.3	あなたの勤務形態を教えてください(複数選択可)。
2.4	あなたの2023年(1月～12月)のおおよその年間収入額(手当等を含む総支給金額。副収入を除く)を教えてください。
2.5	あなたの平均的な残業時間(実働…額面に含まれない残業時間も含む)を教えてください。
2.6	あなたの1ヵ月当たりの休日の日数を教えてください(有給休暇、夜勤や当直の振替などすべて含む)。
2.7	2.5で答えた休日のうち、実際には仕事をしている日数を教えてください(所属施設の仕事、社会活動など)。
2.8	あなたの年休取得率を教えてください(例:年間20日のうち12日取得の場合、60%)。
2.9	あなたの転職回数を教えてください。
2.10	あなたの職場で利用可能な制度があれば、教えてください(複数選択可)。
2.11	あなたの現在の主たる職場における働き方に関する満足度を教えてください。
3	キャリア形成に関する項目
3.1	あなた自身の5年後の姿を思い描くことができますか?
3.2	あなたが目指すキャリアゴールについて、以下のなかで自分の考えと近いものを教えてください(複数選択可)。
3.3	あなたの現在のキャリアに対する満足度について教えてください。
3.4	あなたの現在の職場におけるキャリア形成支援(大学院や資格取得、その他のキャリアアップに対する支援制度)について教えてください(複数選択可)。
3.5	あなたのキャリア形成において、障壁になっているものがあれば教えてください(複数選択可)。
3.6	あなたが必要と感じるキャリア形成支援制度があれば教えてください(複数選択可)。
3.7	職場による働き方・キャリア形成支援に対し、あなたが不足していると感じる点や、職場への希望があればご記載ください。
3.8	学会・職能団体による働き方・キャリア形成支援に対し、あなたが不足していると感じる点や、学会・職能団体への希望があればご記載ください。

ことを試みている点である。

また、先行研究などの論文・文献を収集、委員内で共有するとともに、病院薬剤部における産休・育休取得支援や、時短勤務制度の運用など、好事例を共有した。

令和6年度の活動予定

令和6年度は作成した質問紙調査を日病薬会員に対して実施し、得られた結果を解析、学会発表や論文化することで公表する予定である。これにより、病院薬剤師の働き方・キャリア形成支援に関するエビデンスの充実を図る。また、本資料は薬学生を対象にした早期からのキャ

リア教育の資料としても活用できると考えられる。さらに、働き方・キャリア形成支援に関する好事例の収集と、その周知・発信の機会を増やしていく。

謝辞

本学術小委員会の活動を支援してくださいました日病薬事務局の皆様、学術委員会担当としてご指導くださいました齋藤秀之氏、松尾裕彰氏、ご助言いただきました島田美樹氏、その他関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

引用文献

- 1) 厚生労働省：第13回薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会，資料1-1-1，薬剤師偏在指標の算定について，令和5年3月29日。
<https://www.mhlw.go.jp/content/11121000/001082413.pdf>，2024年5月3日参照
- 2) 前田 徹，平松佑彩，佐伯憲一，水谷秀樹，吉川昌江，青柳裕，矢野玲子，高橋誠弥，原崎周平，日野知証：薬学部生のキャリアに対する意識調査－女子学生が考えるキャリアとは－，薬学教育，2，243-252 (2018)。
- 3) 石塚仁保，寺原史貴，松木有莉，櫻田啓介，中村裕一，鈴木千波，小原秀治，小原郁司：札幌厚生病院に勤務する薬剤師におけるキャリア形成と資格取得・研究活動に関するアンケートを用いた意識調査，日本農村医学会雑誌，69，48-56

(2020)。

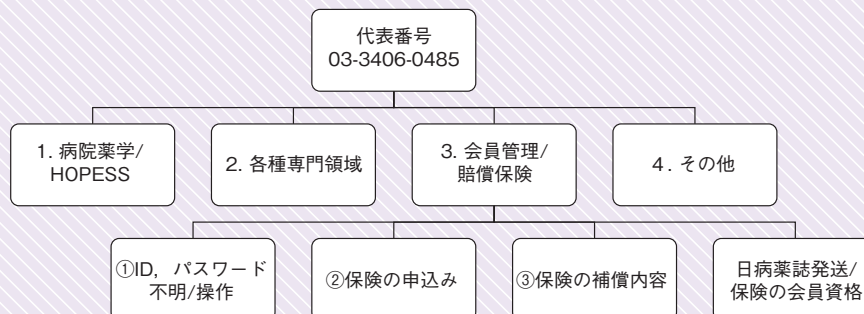
- 4) 土屋雅美，河添 仁，大西友美子，島田美樹，堀 里子：多様な進路・働き方における薬剤師のキャリアパスに対する意識調査，医療薬学，48，249-258 (2022)。
- 5) 内藤隆文：①信州大学医学部附属病院薬剤部におけるキャリア支援，日本病院薬剤師会雑誌，59，826-828 (2023)。
- 6) 鈴木昭夫：②岐阜大学医学部附属病院薬剤部におけるキャリア支援，日本病院薬剤師会雑誌，59，944-946 (2023)。
- 7) 池田龍二：③宮崎大学医学部附属病院薬剤部におけるキャリアアップ支援，日本病院薬剤師会雑誌，59，1083-1088 (2023)。
- 8) 山口浩明：④山形大学医学部附属病院薬剤部におけるキャリア支援，日本病院薬剤師会雑誌，59 1233-1236 (2023)。

お知らせ

電話受付の自動振り分けシステム導入のお知らせ

令和6年8月9日

令和6年9月2日(月)より日本病院薬剤師会事務局の電話受付については、自動振り分けのシステムを導入致します。振り分けについては下記をご参照ください。なお、本会への電話は、サービス向上のため録音をさせていただきます。



- ①シクミネットサポートセンター：03-3490-0776 問い合わせフォーム：<https://jshp.shikuminet.jp/contact/>
 ②銀泉(株) アステラス保険営業部：03-6772-2885 ③損害保険ジャパン(株)：03-3349-5137